

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
54312	スポーツ大会企画支援事業	教育委員会	体育振興係	向山 光	有賀 誠
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2505
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1085	保健体育総務事務
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	4節	生涯学び続けられる環境の充実
		項[基本施策]	(コード選択)	3項	生涯スポーツの振興
		目[主な施策]	(コード選択)	1目	スポーツの振興
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

スポーツ大会・スポーツイベント参加者及び町民

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

スポーツ大会・スポーツイベントを開催及び支援し、参加者を募り、身体を動かすことの大切さと生涯スポーツへの関心を高める。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	町主催の大会の開催運営。(南信柔道大会・陸上大会・活活ふれあいフェスティバル・町内一周駅伝大会)
2	町が支援する大会(市町村対抗駅伝・市町村対抗小学生駅伝・小学生駅伝大会・長狭街道駅伝)に運営協力する。
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	町主催の大会開催数	回	4	4	4	1.00	4
	説明	南信柔道大会・陸上大会・活活ふれあいフェスティバル・町内一周駅伝大会の開催数	目標値設定の根拠	町予算に計上した大会・イベント数				
②	指標名	町支援の大会開催数	回	5	5	5	1.00	5
	説明	市町村対抗駅伝・市町村対抗小学生駅伝・小学生駅伝大会・長狭街道駅伝	目標値設定の根拠	町予算に計上した大会・イベント数				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	町主催の大会への参加者数	人	1,716	1,524	1,716	0.89	1,716
	説明	町主催の大会への参加者数	目標値設定の根拠	22年度参加者数を見込む				
②	指標名	町支援の大会開参加者数	人	138	164	150	1.09	150
	説明	選手参加者数(役員参加者を除く)	目標値設定の根拠	平成22年度と平成23年度の平均値				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決 算	平成23年度 決 算	平成24年度 見 込 み				
対前年比	%		97.6	99.9				
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)								
B)一般財源(税金)		10,272	10,087	10,080				
①事業費	(千円)	2,420	2,751	2,751				
対前年比	%		113.7	100				
②人件費の概算	(千円)	7,916	7,336	7,329				
対前年比	%		92.7	99.9				
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24			
町職員(正規職員)	0.02 0.02 0.02	0.50 0.50 0.50	0.00 0.00 0.00	0.50 0.50 0.50	1.02 1.02 1.03	7,916	7,336	7,329
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	B	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある スポーツを競技として扱う場合と楽しむ場合があり設定が困難
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり 大会等の見直し(縮小または廃止)を行えば削減可能と思われるが、現実には困難である。
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり 総事業費はすべて町費
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 町主催の大会・イベントについては、運営面や実施状況について反省会を実施している。(町陸上大会は未実施)

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

運営面については各体育団体が主体となりつつある。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

当日の運営は各団体で取り組むようになったが、準備はすべて町で行っている。各団体の構成人員の関係もあるが団体でできる準備は団体に依頼していきたい。また、イベントについては実行委員会を組織し対応しているが、次の開催は実行委員会が主体となって行えるよう検討したい。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

実績に基づき予算に計上

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

少子高齢化が進み、各競技団体も構成人員の減少などにより運営も厳しくなりつつあるが、組織や大会の運営について、自立を促すことを地道に取り組む。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択